

令和4年度 第4回酒田市体育施設整備懇談会 懇談要旨

日 時	令和5年1月24日(火) 15:00～16:00
場 所	酒田市総合文化センター4階 409号室
参 集 者	委 員／池田里枝、中條庸右、荘司敏博、尾形律香、齋藤勉、 丸山清、富樫惣一、齋藤美樹 酒田市／池田教育次長、齋藤課長、土門主査兼係長、本間調整主任
配布資料	・次第 ・酒田市体育館整備方針(案)

1. 開 会

2. あいさつ(委員長)

3. 懇談(進行:委員長)

酒田市体育館の整備方針(案)について(資料説明:事務局)

(副委員長)

- 資料ではスケートリンクの設置を光ヶ丘プールの南側としてあるが、これとは別に、県には庄内空港周辺にスケートリンクの設置を要望していくということによいか。
- 資料にあるスケートリンクのサイズは今のものより小さくなるが、25m×35mにはならないか。資料にある緑色の線は既存のスケートリンクのサイズではないのか。
- ⇒(事務局) 図の緑色の線は、参考としてテニスコートの大きさを示してある。

(副委員長)

- 体育施設の休館日をなくしたり、時間を変更する案があるが、業務的に、あるいは管理の面で問題はないか。コミセンだと第3日曜日が休館として月1回休みがあるが、可能か。
- ⇒(事務局) 月曜日が休みというのは、以前に職員が直営していた頃から、週1回の休みを継続してきたもの。現在はシルバー人材センターなどに施設の管理をお願いしている。現在でも1日同じ人がずっといるのではなく、ローテーションを組んで交替で行っている。3人でローテーションを回している場合は、月曜日も開けることになると4人が必要になることも考えられ、雇用の確保の面でもいいのかと思われる。職員が直営していたために週1回の休みがあったが、今では管理形態も変わりそれをずっと続けるのもいかがかと思われる。今でも親子スポーツ会館は週1回の休みがなく、ずっと開館している。

(委員長)

- 65歳までの定年延長がそろそろ始まり、シルバー人材センターではなかなか人材が出てこないとのこと。
- 県への要望については庄内開発協議会という組織があり、県への重要要望の1つとして上げるかを検討している。先日、ヒアリングがあり、酒田市としてはぜひ要望として提出したいと聞いている。

(委員)

- 県への要望で先月、蔵王にスケートリンクの設置の話があった。それとはスケートの種類が違うが、庄内空港のあたりにスケートリンクが造られた時には酒田市の施設になるのか。

(委員長)

- 県への要望なので県の施設になる。
- 県のホームページに掲載されていた「屋内スケート施設あり方検討会議」の議事録では、メンバーの方々をみると、どうも庄内のことは考えられてなく、村山地域以外の方がいない。議事録を読んでいても庄内という言葉は全く出てこない。

(委員)

- 置賜や村山は進め方がうまい。もちろん人口も企業も多いが、庄内では道路を一つ造るのも物事が進まない。それがスケートリンクのことになると、いつのことになるか分からない。酒田市として切り込んでいくような策はないだろうか。
- スキー場がなくなりつつある中、酒田市のスケート場は屋内の目玉の施設である。県に要望しても、皆さんが思うような方向に流れていくのではないだろうかと危惧される。

(委員長)

- スケート連盟の中でも競技ごとに、フィギュア、スピードスケート、カーリング、アイスホッケーと、それぞれ思い描くリンクの形や規模が違っている。400mトラックの中にもう一つのリンクがある、というのを想定しているようである。また、建設費用の調達のしかたとして民間との協同が探れないかとの意見があった。

(委員)

- 資料の案を確認したが、どこでこの見積もりを出したのだろうか。これにお金をかけても誰もこないしムダになる。これだと鶴岡の小真木原のスケート場に人が流れてしまう。整氷車が3千万円だが、定価は750万円なので、どこから見積もりを取ったのか疑問がある。
- 県知事がリンクを造ることにに対して出された条件が、課外授業として使うことと、毎年指導員講習会を開くことがある。
- スピードスケート競技を行うことに私は反対しないが、スピードスケートの団体はフィギュアをすることに反対している。山形ではフィギュアのスケートリンクではなく、スピードスケートのリンクを造ることを要望している。
- スワンスケートリンクは酒田のみならず山形県の宝になっていて、利用者は酒田市民だけでなく県内全域から来ていただいている。この正月で感じたのは、以前に小さい頃スワンスケート場を利用した人達が大人になり、里帰りして懐かしがって来てくれている。利用者は昨日の時点で1万360人となり1万人を超えた。
- スケート場を造るのであれば、中途半端なものにお金をかけるべきではない。ただし、観客席などの立派なものは要らない。案にあるリンクのサイズでは今と同じように大会もテストもできず、県外に行く必要があるので公式の大きさがあつたほうがいい。
- 案にあるテントの方式だと、室内温度が一気に上がるので冬でも冷房を入れないと氷がもたない。確かに自然光は入るが、その分熱がこもるのでエアコンが必要になり電気代のコストがかかるようになる。

(委員)

- 施設を造るときに、専門家に相談しないというのが酒田市の欠点である。専門家に相談して企画していかないといけない。スケートリンクについては競技ができる大きさのリンクでないで建てる意味がないと思う。
- 我々には庄内地区スポーツ連盟協議会というのがあって、県には30年くらい前から県立の体育施設の設置を要望してきた。県庁にも2回くらい行ったが、何の回答もない。最初は体育館ということで要望したところ、天童市に体育館ができた。次にサッカーが盛んな鶴岡でサッカー場の設置を、県の病院跡地に20年位前から要望しているが進んでいない。庄内が一丸とならないと物事は進まない。スケート連盟と、密に相談して行こうがよい。

(委員)

- 酒田市あるいは鶴岡市で建物を造ろうとすると、お互いでよくなく思い、結果どちらにも建たなくなる。今回、酒田市では庄内の中間点である庄内空港周辺ということで提案しているが、鶴岡市と一緒に取り組んでいかなければ難しいのではないか。
- 立派なものは要らないが、それでもスケートリンクの大きさ、設備、テントの構造、冷房設備の必要性など、いろいろ聞いて建てられればいい。

(委員)

- 新たなスケートリンクは、フィギュア競技ができる広さがあるといい。

(委員長)

- 光ケ丘は松葉が大敵になる。クリーンタワーに松葉が刺さり、フィルターを詰まらせる。そうしたことがあるので市体育館でも近くの松の木を切ってもらった。

(委員)

- 松林の中にある体育施設は管理が大変。雪が融けるとあたりが松葉だらけになる。

(委員)

- 松林はもともと本間家の所有で、その中に酒田市は体育施設を整備してきたが、20 年前くらいに買い取りした。
- 松林は、先ほどの松葉のほか花粉が大量に落ちて、光ケ丘プールではそれを毎日取り去るのが大変とのことだった。ただ、国体があったときは全国から選手がお越しになり、その後のスポレク祭も含めて、環境のいいところに体育施設があると感想を言う方がいた。ただし、管理運営するほうは大変である。
- 市体育館の機能を令和 5 年度末で廃止するというのは、委員の皆さん異論がないところでよいか。

(委員)

- 危険なものは使うことができない。そのことに異論はないが、その後のスケートリンクの建設について、この案では問題がある。

(委員)

- スケートリンクの設置例があるところを見て、見積もりを精査する。観客席がない施設の例を参考に、これならいいといえるスケートリンクの建設方法を検討してはどうか。

(委員)

- 観客席ではなくとも、子供たちが滑るところを親が見れる場所があっがいい。スケート連盟で譲歩してくれるのであれば、コンパクトにそれなりの施設の検討ができる。以前から既存の体育館でできないか話が出ていたが、狭くて何もできないとなってしまっしょうがない。

(委員長)

- 新潟市のアイスアリーナはオープンが平成 26 年 2 月 1 日、整備は DBO として設計・施工・運営管理の一括発注をしている。整備費は 22 億 3 千万円。メインリンクは 30m×60m の国際規格を満たしている。さらに 15m×45m のサブリンクがあり観覧席は 1 千席程度。そのほか多目的室、会議室、親子ルーム、準備室。鉄骨造の地上 2 階建てとなっている。

(委員)

- 県知事は、新たなスケートリンクの設置は課外授業ができる場所でないとダメとしている。山形市は課外授業がスキーなので、スケート施設は要らないとしている。

(委員長)

- 市体育館の廃止後の先がなかなか困難である。

(委員)

- 今後 2 つの体育館が使えなくなる時期があるということで、その対応案が資料に休館日

や時間の変更として載っている。自分は平田地区の者で平田には B&G 体育館や平田体育館があるが、照明が半分くらい切れているとか、そうしたところの修理にある程度お金をかけて、他の体育館も含めて検討してもらいたい。そのうえで時間の延長とかを検討してもらいたい。

(委員長)

○30m×20mというスケートリンクの大きさは、あまり意味のない広さになるか。

(副委員長)

○テニスコート2面分が必要とのことだったが、今の案では1面もない。

(委員長)

○光ケ丘でのスケートリンクの設置は難しいということになる。庄内空港のあたりに県で設置してくれるといいのだが。山形の方は蔵王で、高地トレーニングもできるというのを売りにして、ほかに温泉があることも加えいろんな面から訴えかけているように感じられる。

○二市三町が一丸となり、庄内に県営のスポーツ施設を誘致するというのを働きかけるのが第一歩だと思われる。

(委員)

○市体育館のスケートリンクがなくなれば、あとはやる人がいなくなるだろう。

○今のリンクの大きさでもテストができないので、新潟や仙台に行ってテストを受けている。去年までは仙台で大会があったが、今は新潟で開催している。

(委員)

○酒田には冬の遊び場がないので、案のような新しいスケートリンクができて、冬に子供を連れていくことができれば大変いいと思うが、金額が大きくてびっくりしている。話を聞いていると実際に運営していくには電気代にもお金がかかるとのこと、建設するのはちょっと、という思いがある。庄内空港の方にちゃんとしたスケートリンクができるのであれば、1~2年我慢してでも施設ができてほしいと思う。

○新しい体育施設の要望はこれまでも出していたが、何十年も前から頑張っているとのことだったので、いつそのようなものができるかは分からないという感じがする。

(委員)

○今のスワンスケートリンクの大きさは 40m×27m。この前の日曜日はかなり混んで滑れる状態ではなく、氷の上に立って歩くだけの状態だった。

(委員長)

○冬場に子どもを連れて遊びに行く場所としてスワンスケートリンクはいい所なのだが、体育館の躯体がもたない。

(委員)

○令和5年で体育館を止めてしまっても、新たなスケートリンクの設置は財政的に無理ではないかと思う。卓球競技では、市体育館がなくなると国体記念体育館と八幡体育館しか試合ができなくなる。卓球台がある場所でないと運搬して搬入するには経費がかかりすぎて、中体連や高体連に負担がかかる。

○親子スポーツ会館は1階では試合ができないので2階に運ぶが、台数が少ないのでほかから搬入しないといけない。以前に1回やったことがあったが、作業が容易ではなく難しかった。

○5年前くらいに実業団の、日本リーグの大会が酒田で開催された。その時に、監督やコーチだけでなく選手の方々からも酒田はいい所だと言われて、今でもそう聞いている。そのことがあって今でも卓球協会とつながりが持っていて、今後酒田でパラリンピックの合宿を行いたいとの打診もきている。そのような大きな大会の話があったときに体育館が

ないと、国体記念体育館の取り合いになる。

- 大きな大会を開催することで人が来れば宿泊などで経済的にも潤うので、難しいこととは思いますが体育館があってほしいと思う。

(委員長)

- スポーツ競技のハイシーズンになれば、みんなが施設を使いたい。
- 皆さんの意見を伺うと、まず市体育館については廃止でもいい。ただしその先に体育施設やスケートリンクができてほしい。建築費用については必要な設備を想定し、区別して積算する。
- ソフト面として条例の改正により、なるべく皆さんから使っていただく時間を確保する、そうしたところを検討したい。なお、庄内が一丸となって、ただでさえ少ない県営の体育施設を庄内に造っていただきたい、ということ働きかけていく。
- 懇談会を開催してきたが、今回は第4回ということで、これが今年度の最終回になる。これまでテーマを市体育館・スワンスケートリンクということで、想定した2回の懇談会については終わりになる。

(事務局)

- 今年度4回の懇談会を、市体育館について2回、光ヶ丘野球場について2回開催した。市体育館については廃止でもいいが、スケートリンクについてはもう少し精査していただきたいとの話があり、年度末に、または新年度早々にもう1度集まっていたかどうかかもしれない。

(委員長)

- 以上で懇談会は終了する。本日皆さんからいただいた意見や要望は、庁内検討会議で報告させていただく。その会議について、第3回スポーツ推進審議会で報告させていただく。

4. その他

なし

5. 閉 会